

7 広報・情報公開・その他

県では、玄海原子力発電所周辺の放射線・放射能の調査を適切に実施し、分かりやすい形で情報提供しています。

(1) インターネットによる広報・情報公開

県の原子力安全行政の内容、玄海原子力発電所周辺で実施している環境放射線モニタリング測定値を10分ごとに更新する環境放射線リアルタイム表示や環境放射線調査結果を公表しています。

(<https://www.pref.saga.lg.jp/list00516.html>)

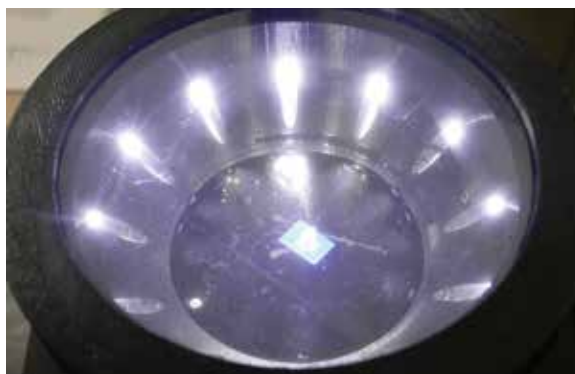
(2) 原子力・放射線等に関する研修

県民の原子力・放射線等に対する不安や疑問に応えられるよう職員が一定の知識を習得することを目的として、県職員、市町職員及び教職員を対象に研修(放射線及び原子力発電に関する講義)を開催しています。

〈講義〉



〈実習〉霧箱観察(放射線飛跡の観察)



原子力・放射線等に関する研修

(3) 原子力・放射線等に関するパネル展

県民に放射線・放射能や原子力発電について理解を深めるきっかけを提供することを目的として、パネルを展示しています。

(令和4年12月1日～12月23日 於：アバンセ)



(4) 原子力広報紙の作成及び配布

「佐賀県原子力環境安全連絡協議会」の概要をまとめ、県内全域の世帯に配布しています。



(5) 玄海原子力発電所の再稼働に関して広く意見を聴く委員会

県では、玄海原子力発電所の再稼働に関して、県内各界の代表の方や学識経験者の方から、様々な観点からの意見やアドバイスをいただくことを目的に、平成28年12月に「玄海原子力発電所の再稼働に関して広く意見を聴く委員会」を設置しました。

また、この委員会に、玄海原子力発電所の再稼働に関して、専門的なアドバイスをいただくために原子炉工学、地震工学等の有識者で構成する「佐賀県原子力安全専門部会」を設置しています。

委員会名	開催日
玄海原子力発電所の再稼働に関して広く意見を聴く委員会	平成28年12月26日 平成29年 2月 8日 3月13日
佐賀県 原子力安全専門部会	平成28年12月27日 平成29年 1月18日 1月19日 2月 2日 2月11日 3月18日

(6) 佐賀県原子力安全専門部会

玄海原子力発電所においては、3、4号機の再稼働以降も安全性の向上や使用済燃料対策等を目的に、国の許可を得て、施設や設備の設置、変更が行われています。

県では、これらの内容を確認するにあたり、原子力安全専門部会の専門家から、技術的な助言・指導をいただいています。

再稼働以降の開催状況

開催日	内容
令和元年6月4日	3、4号機 特定重大事故等対処施設の設置
令和2年3月27日	・3号機 使用済燃料貯蔵設備の増強（リラッキング） ・常設直流電源設備（3系統目）の設置
令和3年7月9日	使用済燃料乾式貯蔵施設の設置

■佐賀県原子力安全専門部会委員

氏名	所属・職名	専門分野
出光 一哉	東北大学金属材料研究所 特任教授	原子力工学 (核燃料工学)
井嶋 克志	佐賀大学 名誉教授	地震工学
片山 一成	九州大学大学院 総合理工学研究院 准教授	原子力工学 (核融合工学)
竹中 博士	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授	地震学
續 輝久	九州大学 名誉教授	基礎放射線医学
藤本 望	九州大学大学院工学研究院 教授	原子力工学（原子炉工学、原子炉物理）
守田 幸路	九州大学大学院工学研究院 教授	原子力工学（原子炉工学、熱流動）

(令和5年6月末現在)

(7) その他

(1) から(6) のほか、県庁新館1階「行政の窓口」で、原子力関係行政資料、環境放射能調査結果などの情報公開を行っています。

